

株式会社 I N P E X (1605)  
第 20 回定時株主総会 質疑応答要旨

---

日時 : 2026 年 3 月 27 日 (金) 午前 10 時  
場所 : The Okura Tokyo(オークラ東京)  
当日出席者 : 731 名  
主な質疑応答要旨 :

Q1 : 株式分割について。

A1 : 現時点で予定はない。若年層を含む個人株主が参入しやすい株価水準について、将来的な検討課題として受け止めている。

Q2 : 東南アジアや周辺国における事業リスク管理について。

A2 : 投資は政治的緊張の低い国・地域を中心に行う方針であり、高リスク国での新規投資は想定していない。販売先としての関係は適切に対応する。

Q3 : 経営陣の若返り、若手人材の早期登用・育成について。

A3 : 重要な経営課題と認識。今次の改選により多少若返るが、社長の世代交代含め継続課題。併せて、社内選抜型の人材育成プログラムで将来の幹部候補育成を進めている。

Q4 : 中長期的な原油価格の考えについて。

A4 : 基本的な想定は従来どおり 70 ドル前後を軸としているが、地政学的な情勢次第で供給制約が生じ原油価格に影響が出る可能性はある。今後も外部環境を注視しつつ検討する。

Q5 : カスピ海・中央アジア産の原油を日本に輸送する可能性はあるのか。

A5 : 一般的に、平時においては輸送距離やコスト面で経済合理性に乏しいが、供給逼迫時には選択肢となり得る。需要家とコスト・タイミングを含め協議し、可能性を検討する。

Q6 : 海外事業における通貨・為替管理について。

A6 : 収入・負債は主にドルで管理し、最終的に円換算して決算に反映している。為替は業績に影響するため、金利と同様にポートフォリオ管理を行っている。

Q7 : 東シナ海での資源開発に取り組む考えはあるのか。

A7 : 同海域には注目しているが、日中間での境界画定問題など制約が大きい。状況を踏まえつつ対応を検討していく。

Q8 : アバディ LNG プロジェクトにおけるプロジェクト契約の形態について。

A8 : 従来型のランプサム契約を基本としつつ、市況やリスクを踏まえ最適な契約形態を

検討している。コストとリスク管理を重視して判断する。

Q9：アラスカの油田開発への考え方。

A9：調達先多様化の観点からアラスカは有力候補の一つと認識している。原油性状や環境条件等の課題はあるが、十分な価値を有するプロジェクトの一つと思料。当面の政府間の議論は関心をもって注視してまいりたい。

Q10：東証の 2030 年女性役員比率 30%目標達成に向けどのような取組みを行っているのか。

A10：2025 年に DE&I 部署を新設しており、女性社員の育成・活躍のためのサポートを深化している。全社の意識改革、及び公正な機会を通じ成長を促す施策を通じ、将来的な道筋を作ってまいりたい。女性社員が国内でも海外でも活躍していける仕組み・方針を作り、その活躍を会社全体で応援してまいりたい。

Q11：南鳥島周辺の海底資源開発に参画する余地はあるのか。

A11：電化社会に向けレアアースには注目しているが、資源として当社が強みを有する流体と固体鉱物とは大きく異なるため、まずはかん水を通じた国内のヨウ素やリチウム等から取り組む。

Q12：国内地熱発電を事業として如何に評価しているのか。

A12：国内の地熱資源量・可能性は大きいですが、国立・国定公園規制やコスト、熱利用ビジネスの限界等の課題があるが、石油・ガス開発事業との技術的親和性を踏まえ、Vision の柱の一つ再生可能エネルギーの有望な要素として今後も検討を継続してまいりたい。

Q13：育児と両立した女性活躍をどう支援しているのか。

A13：男女ともに育休を 100%取得できる制度整備を進めている。育休で社員が抜けた部署の人員補完や支援策を通じ、育休取得が当たり前の職場環境を目指している。

Q14：イクシスのコンデンセートの供給先と収益性はどうか。

A14：当社の権益比率に応じた数量を供給しているが、一部は日本向けに供給しており、今後も優先的に協議する。イクシスの収益面では LNG の割合が大きい。

Q15：累進配当を継続する上で何を重視しているのか。

A15：2025 年に策定した INPEX Vision 2035 において、成長投資と株主還元の両立を基本方針としている。十分なキャッシュフロー確保を前提に、成長の果実を還元していく。

Q16：米国原油調達の考えは。

A16：様々な課題があるが、米国は調達多様化の候補として注視している。

Q17：社外取締役は何故、株式を保有していないのか。

A17：社外役員には中立的な立場で助言及び監督をいただくことを期待しているため、中立性確保の観点からその株式保有は推奨していない。

以上

注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。